

## 3章 基本的考え方

### 1. 成田におけるスポーツライフの将来像

本プランの目標年である平成22年（西暦2010年）頃，成田では，次のようなスポーツライフを実現することが望ましいと考えます。

#### 市民だれもが……

**幼児が**，近隣の公園やまちの中で，安心して楽しく遊んでいます。

**児童・生徒が**，学校や地域のクラブで，スポーツを楽しんだり，心身を鍛えたり，トップレベルをめざして一生懸命トレーニングに励んでいます。

**成人が**，仕事や家事の合間，休日などの余暇時間を利用して，気軽にスポーツを行い，地域の住民やクラブのメンバーとの交流を楽しんでいます。

**高齢者が**，安全な方法で，体力に応じて，スポーツを楽しみながら健康づくりを行っています。

**障害者が**，バリアフリー化された施設や場で，スポーツを楽しんでいます。

**外国人が** 地域の人達と一緒に，スポーツを楽しみ，さまざまな交流を深めています。



## 市内どこでも…………

公園や歩道，広場など，**身近な場所**で，市民が日常生活の一部として，スポーツ活動を行っています。

**学校**で，体育や運動部活動はもちろんのこと，体育施設を利用して，地域住民がスポーツを行っています。

**地域スポーツクラブ**や**民間スポーツクラブ**で，活発なスポーツ・レクリエーション活動を行っています。

市内8つの**地区**で，施設やクラブが管理・運営され，市民が身近な場所でスポーツを行っています。

印旛沼や根木名川，利根川，坂田ヶ池，市民の森など，市内の**豊かな自然**のなかで，市内外の人々がいきいきとスポーツ活動を行っています。



### バリアフリー

高齢者や障害者の行動の妨げとなる建築的障壁（バリア）を除去するという意味で，段差をなくしたり，誘導ブロックを設けたりすること。物理的な障壁だけでなく，社会的，制度的，心理的な全ての障壁の除去という意味でも用いられる。

## 2 . 基本理念

---

成田におけるスポーツライフの将来像の実現をめざし、次の基本理念に基づいて、本プランを推進します。

### 個性 きらめく スポーツタウン

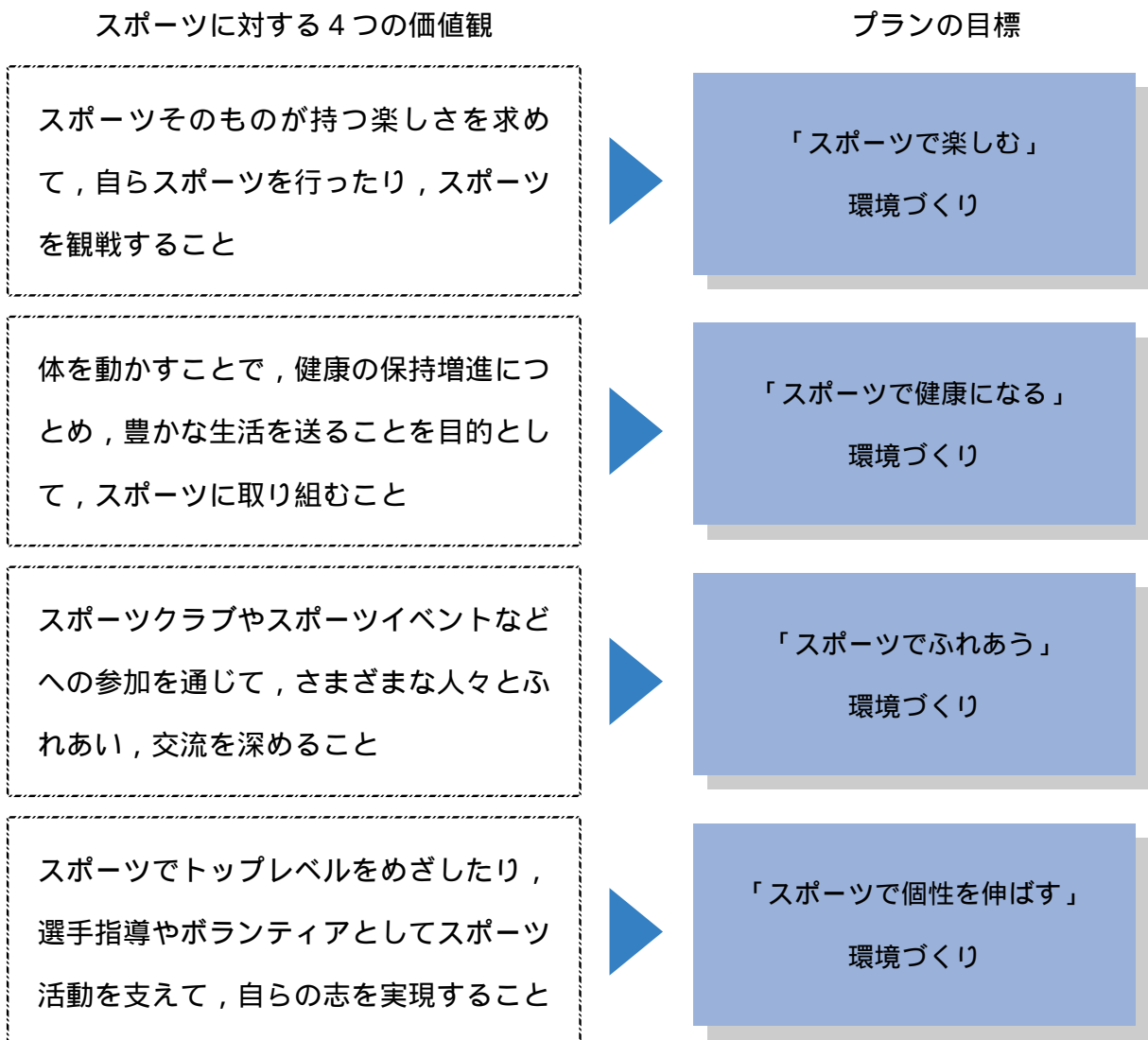
スポーツを楽しんだり、健康や体力づくりを行ったり、スポーツを通じて交流を進めたり、自己実現を図るなど、スポーツを行う目的はさまざまです。成田市では、市民一人ひとりが自らの価値観に基づいて、自主的にスポーツを行い、生涯にわたって、個性を発揮しつづけると同時に、スポーツ活動を通じてコミュニティの育成を図り、住民相互の連帯感を高めることのできる「まち」をめざします。

そのためには、スポーツを行う場や施設、情報、指導者などの提供に基づいて、市民のさまざまなニーズに対応できる環境づくりを推進していく必要があると同時に、各地区や団体、学校などを中心に、市民一人ひとりが、サービスの受益者及び担い手として、自主的に参加できるようつとめていきます。

### 3 . プランの目標

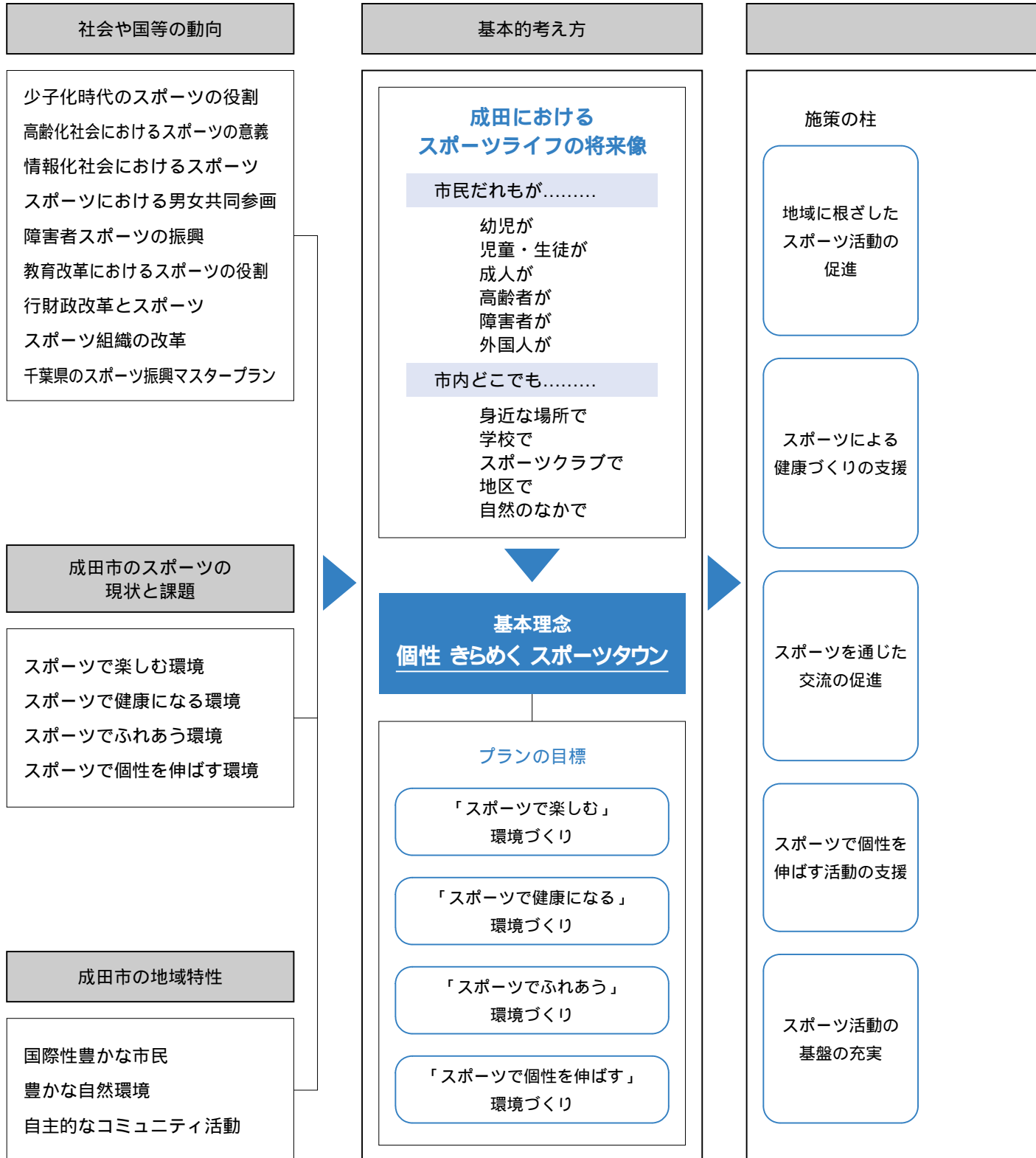
本プランの目標は、スポーツに対する市民一人ひとりの多様な価値観に応えられる「環境」を育くむことです。本プランでは、スポーツに対する価値観を次の4つのカテゴリーで捉え、それぞれの活動を推進することのできる「環境づくり」をめざします。

#### スポーツに対する4つの価値観とプランの目標



## 4 . プランの全体構成

本プランの全体の構成は、下図の通りです。







スポーツでふれあう